

三朝町望ましい小学校施設等検討委員会 第4回会議 会議録

- 1 日 時 令和2年6月4日(木) 午後1時27分～午後3時15分
- 2 会 場 三朝町総合文化ホール1階 多目的ホール
- 3 出席者 【委 員】別紙名簿のとおり  
【オブザーバー】湯本氏、山下氏、戸田氏、湯口氏  
【事務局】山中課長・小谷指導主事・福田係長・早苗専門員
- 4 概 要 【整備案検討】教室等の配置、敷地における校舎の配置、将来的な敷地の使い方について意見交換し、ある程度方向性を精査
- 5 内 容
- (1) 委員長あいさつ
- ・ これまで、敷地についての考え方を中間報告としてまとめたところ。
  - ・ 校舎の中身のあり方と配置について、ご協議いただきたい。
- (2) 小学校施設等の望ましい基本的な整備方針と設計デザインについて
- ※ ・ 委員意見等 →事務局説明
- (事前送付資料および当日配布資料について説明)
- ・ 岐阜小学校は事務局が視察に行かれたと聞いているが、こういったところが良かったのか。
- 採光が良く、普通教室は内壁を取り払った形となっており、開放的な空間であるため、子どもたちがストレスなく生活できる環境だと考えられる点。天井高が高いことや、フリースペースが多いことも開放的な空間につながっていると思われる。
- ・ ワークスペースが多く、自由度が高い。最近流行りの形ではないか。
  - ・ 現状の案とは全く異なるが。
- ワークスペースの優先度が低いことから、それを削除していくと現状の形になっていった。
- ・ 開放感があると同時に、室温が高い環境となる。ワークスペースは流行りだったが、教室が広くなればそこでできる。それ以外に大きな部屋が必要なら、体育館や多目的ホールで対応できる。
  - ・ (ワークスペースをつくると)教室の外で騒音がするが、それはどうかと思う。生徒同士の距離を1.5mとろうと思うと教室の大きさは確保したい。
  - ・ 人数が入ってスペースがなくなるのなら、教室を大きくする必要はあるのでは。

- オープンスペースは直近では不要という考え方の方が主流のため、図面から落とした経緯がある。また、現在図面に示している9m×9mの教室サイズは全国的に見ても大きいサイズであり、現在の三朝小学校は9m×7mである。
- ・ 1クラスの人数が40人から35人となる中で、2クラスが1クラスとなるタイミングで教室が狭くなる可能性はある。
  - ・ 今の学校で、実際に生徒間の距離を1.5mとれる学校はないのではないかと。事前に配布されたF案とG案についての意見はとりまとめないのか。
  - ・ 今の議論で上がっているような広い教室は、高校では見たことがない。西高の時は、教室は教室で活用し、それ以外に多目的ホールをつくった。間仕切りができる部屋がいい。あまりにも大きい教室はどうかと思う。落ち着かない。  
1学年を2クラスに分けて授業をしたことがあるが、大変だった。
  - ・ コロナ対策にもつながる話。小学校はどのような状況か。
  - ・ 普通通り授業を行っているが、教室の横列については6列から5列に変更した。縦は6列で入る。最大数は6年生となっている。
  - ・ 中学校は25人ずつ程度のクラスなので余裕がある。今の机は教科書のサイズがA4になったから大きくなっており、それで教室が狭くなっている。
  - ・ 教室内で距離をとるのは現実的には難しい。間仕切りで教室の大きさを変えられるのもいいかもしれない。  
可動間仕切りのオープンスペースは昔流行ったが、今は使われていない。
  - ・ 可動間仕切りは冬が寒い。  
ワークスペース側に机を出して広く使えるのはメリットといえる。  
全館床暖房の学校もあった。
- 隣の声が聞こえるということで、追加で壁を設置した例もある。
- ・ どちらの方針へ向かうべきか。
  - ・ 校舎は40年～50年使う。その時のことも考えながら、多様な学習方法を考え、いろんな可能性を担保するため、ワークスペースはあった方がいい。
  - ・ 同感ではあるが、寒いといわれてしまうと難しい。  
小中学校の意見を聞いた案はどれだったか。
- F案とG案。
- ・ G案は安全面でどうか（町道が近い）。F案は体育館（トレセン）との接続がどうか。1階は施錠の問題がある。将来、地域に部屋を開放する際、学校内がフリーになってしまう。  
G案は小中の子どもが同じフロアにいるのは疑問。ここまでなるなら一貫校にしてしまうのはどうか。  
F案は校長室が一番奥で、子どもが見られる位置にないといけない。  
玄関の向きは、将来を見据えた場所にしたい方が皆に納得されるのでは。
  - ・ 2階がオープンな印象だが薄暗く、岐阜小には程遠い。資料室や会議室も照明

がないと使えない。

玄関の位置も大切。F案とG案はあり得ないと判断し、H案とI案を試みる。  
最終的には西側が正面となっている。

- 危険防止のため、バスロータリーを敷地内に配置している。
  - ・ 土手を通して子どもたちが移動することも可能と見える。役場側からの行き来はイメージができるが、それ以外の方面からのアクセスはどうか。
  - ・ 現在、中学校に通う子どもたちと同じ形になると思われる。  
公園広場とはどういう位置づけか。調理センターなどは見込まれているだろうか。
  - ・ グラウンドへの出口があるなら、西側を玄関にしても良い。職員玄関は南側でもよいのでは。
  - ・ I案はいいと思う。
  - ・ I案はありだと思う。
  - ・ 地域に開かれた施設の考え方はどうか。成徳小学校は地域に開かれた建物があるとのことだったが。
- 成徳小学校は増改築された際に地域開放ゾーンを設けたと聞いている。現在検討中の案では、校内にゾーニングして開放部分を決め、柵などで仕切れるようにしようと考えている。
  - ・ 開放ありきで考えているのか。
- コミュニティスペースなど、開放できる部分を先に考える。
  - ・ 公園はどのようなスペースになるのか。
  - ・ 今日の意見をまとめていこうと思う。
  - ・ H案の2枚目とI案の2枚目は想像できにくい。小中が同じスペースにあるのは。
    - ・ 中庭は開放的だが暑いということになるか。また、危険か。
    - ・ 中庭分はグラウンドが小さくなる。その分、学級園がほしい。校舎の南側にスペースができれば。
    - ・ 普通教室の配置として、I案はあり。新しい可能性を感じる。
- I案は玄関から小中部分を東西に分けている。これは、中学校から意見のあった、小中を別フロアとした場合、中学校部分が3階に固まることで、子どもたちの成長を阻害する恐れがあるという面を意識してのものである。
  - ・ I案の2枚目は確かにある程度小中が分かれている。
- I案は吹抜部分をつくっており、採光として自然光が1階まで届くようになっている。また、中央に玄関を配置し、管理部分を南側にしている。
  - ・ 7,785㎡はそれほど大きくなく、割とコンパクトだといえる。
  - ・ 玄関が東西に抜けていて良いと思う。ただ、フロアは小中で分けた方がいい。
  - ・ 15年後に中学校全学年1クラスとなった際、再検討できる状態にしておきたい。
  - ・ 体育用品をすぐ取り出せるようにするため、外部倉庫が必要。現小学校グラウンドにも倉庫が必要。また、新設する中学校体育館には避難所の内容を盛り込んでお

いた方が良い。

(3) その他

- ・ I案について意見が出し尽くせていない可能性があるため、来週のどこかで期限を切って各委員から意見をいただくようにし、出された意見を踏まえた図面の検討を事務局で行ってもらい、次回までに事前配布するようにしてもらいたい。

→ 6月9日(火)を期限として各委員からI案に関する意見を提出してもらい、それを事務局で協議したうえ、次回会議までに新たな図面を各委員へ配布し、意見を持ち寄ってもらうようにする。

閉 会

- ※ 次回は6月18日(木)午後3時～ 町総合文化ホール 多目的ホール予定  
次々回は6月25日(木)午後1時30分～ 同会場予定  
詳細は別途案内、資料は事前送付する。